

作物名（大豆）

県 名	生育ステージ		生 育 の 状 況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備 考
	本 年	平年対比				
茨 城 県 （水戸市）	タチナガハ 本葉 第 9 葉 展開期	やや遅い	7 月第 1～6 半月（30 日まで）の平均気温は平年並みであり、 日照時間は平年比 118%、降水量は平年比 82%であった。第 4～6 半月の降雨がほとんどなかった（水戸地方気象台観測値。平年 値は直近 5 ヶ年の平均値）。	ツメクサ ガ等による 葉の食害が やや目立つ。	・ 7 月 19 日に中耕培土 （培土は子葉節ま で）、25 日に 2 回目の 培土（初生葉節まで） を実施。 ・ 7 月 11 日、24 日に殺 虫剤散布。 ・ 今後、紫斑病、英害虫 の防除を実施する。	
	納豆小粒 本葉 第 9 葉 展開期	やや遅い	生育ステージは、タチナガハ、納豆小粒とも本葉第 9 葉展開 期であり、平年よりやや遅い。 生育は、タチナガハでは主茎長、主茎節数、分枝数が平年を 下回り、納豆小粒では、主茎長が平年より短く、主茎節数、茎 の太さが平年をやや下回る。地上部生体重は両品種とも平年比 60%前後と軽い。7 月後半に降雨が無かった影響が大きいと考え られる。			

表 生育調査(播種後41日、7月30日調査、開花期のみ8月3日まで調査)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月3日	3 (7月31日)	2 (8月1日)	28.0	68 (41.4)	73 (38.3)	9.8	80 (12.2)	88 (11.1)	0.03	1 (2.1)	2 (1.3)	6.0	89 (6.7)	95 (6.3)	27.8	50 (56.1)	58 (47.6)
納豆小粒	—	— (8月11日)	— (8月9日)	27.0	85 (31.6)	77 (35.1)	10.0	87 (11.5)	91 (10.9)	1.5	150 (1.0)	99 (1.5)	5.2	104 (5.0)	94 (5.5)	22.0	76 (28.8)	62 (35.4)

○内は前年または平年の数値。平年値は平成19年～23年(5ヵ年分)のデータの平均値。
茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。
播種日:6月19日、栽植密度:11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況（7月30日撮影）



タチナガハ



納豆小粒